



〈公開〉 生と死の語り

2013 年度も多彩な講座とシンポジウムを通して、生と死の問題に総合的に取り組みます。東日本大震災の問題も引き続き中心課題の一つとして考え続けてゆきます。

多くの出会いと発見を願いつつ、ご参加をお待ちいたします。

2013 年 4 月
東洋英和女学院大学 死生学研究所 所長 渡辺和子

- 会場 東洋英和女学院大学大学院 201 教室（第 1 回連続講座以外）
六本木駅（日比谷線徒歩 10 分）麻布十番駅（大江戸線徒歩 5 分、南北線徒歩 7 分）
- 参加費 連続講座各回 500 円、シンポジウム各回 1,000 円（本学院在校生・教職員は全回無料）
- 事前申込不要 □当日先着順 100 名様
- 問合せ先 東洋英和女学院大学死生学研究所 〒106-8507 東京都港区六本木 5-14-40
03-3583-4035 (Fax 専用) shiseigaku@toyoeiwa.ac.jp

日程（土曜日）30 分前から受付開始			発表者	所属	題目
2013 年 4 月 13 日	14:40～ 16:10	第 1 回 連続講座	村上陽一郎	本学学長	現代における再生医療
	16:20～ 17:50	第 2 回 連続講座	西 洋子	本学人間科学部教授	共創の原初、未来への跳躍 —被災地域での身体表現活動の試み
6 月 22 日	14:40～ 16:10	第 3 回 連続講座	渡辺和子	本学人間科学部教授	『ギルガメシュ叙事詩』とファンタジー作品 —移行と変容の語り
	16:20～ 17:50	第 4 回 連続講座	前川美行	本学人間科学部准教授	子どもたちの日常とファンタジー —学校に妖怪が生まれるとき
7 月 27 日	14:40～ 17:50	シンポジウム アジアの死生観 —生者と死者の交流	津曲 真一	東京理科大学 非常勤講師	〈チベット人の死生観〉 生者と死者の関係をめぐって
			サランゴワ	千葉大学特別研究員	〈モンゴル人の死生観〉 シャーマンにみる生者と死者の交流
			佐藤 憲昭	駒澤大学文学部教授	〈日本人の死生観〉 アジアのなかの日本のシャーマニズムと死者との交流
10 月 5 日	14:40～ 17:50	シンポジウム 被災地での活動	西 洋子	本学人間科学部教授	蝶が羽ばたくと表現がつながる —石巻・東松島、そしてここ
			高橋 原	東北大学文学研究科実践 宗教学寄附講座准教授	誰が話を聴くのか？ —被災地における霊の話と宗教者
			宇根 節	パストラルケアセンターHUG ハウス スピリチュアルカウンセラー	町はホスピスになれないか？ —被災地で心のケアに携わって見えてきたこと
12 月 7 日	14:40～ 16:10	第 5 回 連続講座	細田あや子	新潟大学人文学部 准教授	生と死の世界を往還する美術
	16:20～ 17:50	第 6 回 連続講座	深澤 英隆	一橋大学大学院 社会学研究科教授	死後生論の哲学をめぐって
2014 年 1 月 18 日	14:40～ 16:10	第 7 回 連続講座	長尾 敦子	本学人間科学部准教授	欧州の生命倫理問題 —脳死・臓器移植と安楽死を例として
	16:20～ 17:50	第 8 回 連続講座	横倉 聡	本学人間科学部教授	精神保健福祉、100 年の歴史から学ぶこと
2 月 15 日	14:40～ 16:10	第 9 回 連続講座	Miriam T. Black	本学人間科学部准教授	Patient Narrative in Neuropsychological Evaluation: A.R.Luria's Study of a Mnemonist (患者の語りの神経心理学的検討—A.R.リウリヤによる記憶術者の研究、日本語あり)
	16:20～ 17:50	第 10 回 連続講座	福田 周	本学人間科学部教授	身体の傷と心の傷 —フリーダ・カーロの絵画にみる生と死の語り

（財）国際宗教研究所共催
「生と死」研究会第 12 回例会

<2013 年 4 月 14 日作成>

東洋英和女学院大学死生学研究所編（リトン刊）

『死生学年報 2013 生と死とその後』

定価 2,500 円＋税 一般書店でご注文・ご購入いただけます

